第６学年　家庭科学習指導案

奥州市立水沢南小学校

１題材名　くふうしよう　朝の生活

２本時のねらい

　朝食の大切さが分かり、栄養バランスのよい朝食を考えたり、自分なりに工夫したりする。

Ｔ１：担任　　Ｔ２：栄養教諭

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学級活動 | | | | 教師の支援・留意事項 | | | 評価・準備 | | |
| つ  か  む３  分 | １　朝食調査の結果からクラスの  　　実態を知る。  ２　朝食の必要性を考える。  ３　学習課題を確認する。 | | | | ・朝食調査の結果からクラスの実態を  　つかませる。（Ｔ１）  ・朝の生活を思い出させ、なぜ朝食を  　食べるのか考えさせる。（Ｔ１） | | |  | | |
|  | 朝食の働きと、より良い朝食のとり方について考えてみよう。 | | | | |  |
|  | | |  | |
| ふ  か  め  る  32分 | ４　自分の朝食で気づいたことを発表する。  ５　朝食の働きを知る。    　　○脳を動かすエネルギーにな  　　　る。    　　○体温を上げる。        　　○便秘を防ぐ。  ６　栄養バランスのよい朝食について知る。  ７　自分の朝食を、本時の学習をもとに振り返る。 | | | | ・今日の朝食のメニューを記入させ、気づいたことを発表させる。（Ｔ１）  ・朝食の働きについて知らせる。（Ｔ２）  ○脳が活動するためには、炭水化物（ブドウ糖）を必要とすることを、模型を使って理解させる。  ○朝食摂取直後のサーモグラフィの図  　を示し、食べたものが熱となること  　に気付かせる。さらに午前中の体温  　変化グラフを読み取らせ、朝食が午  　前中の活動源となっていることを理  　解させる。  ○体に食べ物が入ると不要な物を体外  　に出そうとする様子を体内模型を使  　って気付かせる。  ・本日の給食を示し、朝食に必要な栄養バランスについて伝える。（Ｔ２）  ・今日の朝食のメニューを食事の基本  　に合わせて分類させ、自分の食事の  　栄養バランスについて気付かせる。納豆など、調理しなくても食べられる食品活用を伝える。　（Ｔ２） | | | ワークシート  肝臓、脳の模型  ｻｰﾓｸﾞﾗﾌｨの図  体温変化ｸﾞﾗﾌ  体内模型 | | |
|  | ◇朝食が体の中  　で大切な働き  　をしているこ  　とがわかる。  （知識・理解） |  | |
|  | |
|  | |
|  | |
|  | |
| 給食写真  紙板書  ワークシート | | |
| ま  とめ  る  10分 | ８　まとめを確認する。 | | | | （Ｔ１） | | | ワークシート | | |
|  | | 朝食には、おもに３つの働きがある。より良い朝食とは  栄養バランスを考えてとることである。 | | |  | |
|  | | |
|  | | | | | | |
|  | ◇栄養バランスのよい朝食を考えたり、自分なりに工夫したりしている。（創意・工夫） |  | |
|  | |
|  | |
|  | |
|  | |
|  | |
|  | | |
| 今日の課題 | | | | |  | | | | | | | | |

　　　　　　　　　　　　 　　　　　６年　　　組　　　　番　名前

|  |
| --- |
|  |

＊今日の朝食のメニューを書きましょう＊

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 食卓に出て  いた料理名 |  |  |  |  |  |  |  |
| 食べた料理に  ○をつける |  |  |  |  |  |  |  |
| 食事の基本 |  |  |  |  |  |  |  |

☆朝食の働き☆

１，

２，

３，

☆今日のまとめ☆

|  |
| --- |
|  |

☆今日の授業でわかったこと、これからの目標を書きましょう☆

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

☆保護者のみなさまへ☆

　今日、子どもたちは「朝食のとり方」について学習しました。

　お子さんの日ごろの食生活や学習後の感想などを見て、保護者の方から一言記入をお願いします。

|  |
| --- |
|  |